

効果的なプレゼンテーションソフトの活用

HYOGO スクールエバンジェリスト 兵庫県立香住高等学校 篠原 健悟

本時の目標 ・プレゼンテーションソフトを活用して、課題に対する発表スライドを作成する。 ・アプリケーションによる発表スライドの違いを理解し、目的に応じた使い分けができるようにする。	校種・学年	高等学校・3年
	教科・領域	水産
	アプリ・ソフト	・PowerPoint ・Canva
	備考	

○本時の展開


○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	○本時の目標を確認する。 ◆PowerPoint と Canva でつくったスライドの見本を提示する。
展開	○実際に Canva で課題「魚の紹介」についてスライドを作成する。 ◆近くの生徒と対話しながら、新しい機能をどんどん発見するよう伝える。
まとめ	○PowerPoint と Canva の違いを知る ◆中間モニターで工夫した生徒のスライドを紹介し、意欲を高める。 ◆以前作った PowerPoint のスライドを中間モニターで紹介し、アプリケーションによる違いについて知る。

**育成できる情報活用能力**

◎生徒同士で対話しながら、情報機器を協働で活用できる能力を育成する。

**育成できる情報活用能力**

◎目的に応じて適切な情報機器の活用を選択することができる能力を育成する。



生徒の感想
・今までとは違う視点でスライドを作成する必要があったが、デザインをするという点では Canva はとても簡単で見やすいスライドを作ることができた。 ・文字を打つという点では慣れているせいもあって PowerPoint の方が便利だった。

**<情報活用能力の育成とその効果>**

- ・課題、目標に応じて適切に情報機器を選択し活用することができる能力を育成することができる。
- ・他の情報機器においても使うことが目標ではなく、目標を達成するためのツールとして情報機器を活用できる能力を育成することができる。